

---

◇村 田 薫 議 員

○議長（森元淑雄） はじめに、2番、村田 薫議員の一般質問を許可いたします。村田 薫議員は登壇願います。

（2番 村田 薫議員 登壇）

○2番（村田 薫） おはようございます。通告に従いまして、一般質問をいたします。

質問事項の1つ目として、駅前駐車場の拡大を。

質問の要旨は、J R飯詰駅前に2か所、後三年駅前に1か所、J R利用者の駐車場があります。

5、6年ほど前から利用者の方々から、狭くなってきて、拡張またはもう一か所、駅の近場に駐車場を増やしてほしいとの要望を何度か伺ってまいりました。町当局にも何らかの形で要望があったのではと思っております。

飯詰駅の場合は、完全に満車の日が毎日のような状態です。はみ出した車が農協倉庫敷地の端っこのほうに駐車しているのをよく見かけました。

奥羽本線と新幹線との連絡がスムーズになりまして、有料な大曲駅東口駐車場を利用するよりも無料の飯詰駅駐車場を利用する人が増えるのは、まず当然のことですが、新幹線利用者は3日、4日と駐車することが多く、スペースがないときは大変困っているような様子でした。

不足が顕著な飯詰駅前にもう一か所、駐車場が整備されると便利なわけですが、財源の問題もありまして、一概に解決しないと思っております。利用者の中には美郷町外の方々もおられまして、せめて町内の利用者には不便を感じさせない程度に、町外利用者は少額であります、ちょっと有料とか、また町内の利用者には完全な無料化などの何らかの工夫を試みてはいかがでしょうか。町長のお考えを伺います。

○議長（森元淑雄） 答弁を求めます。町長は登壇願います。

（町長 松田知己 登壇）

○町長（松田知己） おはようございます。ただいまのご質問にお答えいたします。

J R飯詰駅周辺にあります2か所の駐車場は、そもそも駅利用者用の駐車場ではなく、平常時は駅周辺を訪れる方が広く利用できる駐車場として、また災害時には地域住民の避難場所として活用できるスペースとして、合併前の仙南村で駅北側に、合併後の平成23年に駅南側に、さらに令和5年6月には区画の増設を行い、飯詰駅前多目的広場として整備、管理してきているところです。

また、J R後三年駅については、後三年コミュニティセンター利用者用に駐車場を整備しております。

議員ご指摘のとおり、J R飯詰駅利用者の駐車スペースについては、町にもご要望があり、J R

東日本に対して駐車場整備の要望を行い、結果、令和6年11月、ＪＲ飯詰駅前の広場に白線が引かれ、5台分の駐車スペースが設けられたところです。

また、飯詰駅前多目的広場については、本来目的に沿った使い方がしやすいように、コインパーキングのように有料化できないか検討したこともありましたが、費用対効果の点で実施は難しいと判断した経緯があります。

いずれ、ＪＲ飯詰駅利用者のための駐車場については、本来、ＪＲ東日本が対応すべきことですので、町が多目的広場をさらに拡張して駅利用者のための駐車場整備を行うこと、あるいはＪＲ利用者を意識して有料駐車場化することは、現在のところ考えておりません。なお、ほかに何らかの工夫ができないかは継続して考えてまいります。

以上です。

○議長（森元淑雄） 再質問ありますか。（「ありません」の声あり）それでは、次の質問に移ってください。

○2番（村田 薫） 質問事項の2つ目です。今後の企業誘致の取組についてです。

千畑地区に企業誘致されました山崎ダイカスト株式会社秋田工場とロード電子株式会社秋田工場が破産手続中ではありますが、ダイカスト製品メーカーのプログレスが美郷町に誘致してきたプログレスダイカストとして事業を引き継ぎ、昨年12月から工場、設備、従業員の大半を継続して雇用し、事業を続けております。

また、樋口繊維の工場は既に事業を撤退しております。さらに、六郷にあったファッションメーカーのロードファッション株式会社と六郷ニット株式会社も事業を終了しております。

誘致工場の現状と今後の展開について伺います。

1つ目として、現在町内に誘致企業は業種別に何社あるのか。その従業員数は。

2つ目として、誘致企業のための支援として、令和7年度当初予算に計上したものはどのようなものがあるか。その中には新規事業は入っているのか。

3つ目として、働く場所の確保は、町民の雇用創出の観点から重要な施策であり、引き続き企業誘致に取り組むことは、移住・定住や人口減少対策につながると思います。さらなる企業誘致を進めるに当たり、町の新たな取組や方策、あるいは製造業に限らず、今後どのような企業を誘致していくのかなどについてお伺いいたします。

○議長（森元淑雄） 答弁を求めます。町長は登壇願います。

（町長 松田知己 登壇）

○町長（松田知己） ただいまのご質問にお答えいたします。

まず、ご質問の１点目ですが、町内の誘致企業数は17社で、全てが日本標準産業分類に基づく大分類の業種である製造業に当たります。

誘致企業の従業員数の合計は、企業訪問による確認及び電話での聞き取りによりますと、現時点で863人です。

次に、ご質問の２点目、企業誘致のための支援ですが、誘致企業に対しては、美郷町企業誘致条例に基づき、固定資産税の課税相当額の奨励金、町内居住者常時雇用奨励金を支給しております。その対応は、企業誘致が決定した都度、補正予算で対応することとしており、令和７年度当初予算には計上しておりません。また、令和７年度において新規の取組はなく、従前の制度で対応していくことを予定しております。

なお、先月２月４日付で県の誘致企業認定及び町の誘致企業指定を受けました株式会社プログレスダイカスト秋田は、美郷町企業誘致条例に基づく奨励措置に該当する見込みで、固定資産税の課税相当額が分かり次第、町内居住者常時雇用奨励金と合わせて補正予算計上する予定であります。

ご質問の３点目、今後の企業誘致活動についてですが、これまでと同様に県企業誘致推進協議会ははじめ関係機関と連携しながら誘致活動を展開していくことを基本にいたしますが、町内の空き工場については、新たに所有者の同意の下で、秋田企業立地サポートガイドに情報を掲載し、これまでよりも広範に情報発信する取組を展開してまいりたいと存じます。

いずれ、こうした企業誘致に関しては、美郷町の水や緑、景観など自然環境との調和や地元企業への影響など様々な要素を勘案し、業種を問わず地域特性に合った企業の誘致を目指してまいりたいと存じます。

以上です。

○議長（森元淑雄） 再質問ありますか。（「はい」の声あり）村田 薫議員の再質問を許可いたします。

○２番（村田 薫） 町の資源を大いに活用していく形で企業誘致を進めるとか、または現在、町といろんな協定を結んでいるとか、協力してくれている会社などの協力も考えまして、商品化できるものについて何か、例えば美郷雪華などというものは非常に珍しいものでありまして、さらなる開発、研究などを通して、商品の拡大とか、企業をさらに大きく誘致するようなお考えがありましたらお願いいたします。

○議長（森元淑雄） 答弁を求めます。町長は自席でお願いします。

○町長（松田知己） ただいまの再質問にお答えいたします。

議員ご承知のとおり、これまでも美郷雪華をはじめとする町の特産部分については、意識を持っ

て取り組んでまいっております。

さきに、議員もご承知のとおりですが、企業と連携して、美郷雪華に関して言いますと、これまで活用法等には入っておりませんでした化粧品原料について、大阪の企業と連携協定を結びまして、独自の開発に取り組んでおりますし、その原料供給については生産組合を設立し、企業振興、地域の農業振興に資するような取組を重ねているところであり、今後ともそうした考え方の下、各般にわたり取り組んでまいりたいと存じます。

以上です。

○議長（森元淑雄） 再々質問ありますか。（「ありません」の声あり）

これで2番、村田 薫議員の一般質問を終わります。